



特集 平成29年度 当初予算と主要事業

韮崎市名誉市民大村智博士のノーベル賞受賞は、私たちに大きな感動を与え、郷土への誇りと愛着を感じさせてくれました。昨年は、「幸福の小径」に大村智博士の銅像を建立し、前方の富士山や後方の八ヶ岳と一緒に、銅像の写真が撮られる方が市内外から多く訪れていました。地方創生の取り組みが本格化している中で、地域の魅力を活かしたまちづくりの推進が最重要課題となっています。「強くて美しいまち・韮崎」「元気で豊かなまち・韮崎」「夢と思いやりのあるまち・韮崎」の3つの挑戦を実現させるため、市民目線で心のこもった市政運営に、「チーム韮崎」で取り組み、将来に夢と希望の持てる、活力あるまちづくりを推進していきます。

将来を担う子どもを のびのび育むまちづくり

◆子育て支援の充実

子どもたちの成長に合わせて、継続的に支援を行うための子育て支援センター「にらちび」での活動。それに加え、当事者目線での相談支援や情報提供により、子育て支援施設や事業等への円滑な利用につなげ、妊娠前から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、総合的相談支援を提供するための「韮崎すくすく子育て相談センター」の開設に向けて準備を進めていきます。

◆子育て環境の整備

すずらん保育園と同様に甘利山の木材を使用した、園児にやさしい温もりのある再編第2保育園は、藤井公民館との公共施設の集約化により、複合施設として公共施設最適化事業債など有利な財源を確保し、文化ホールの駐車場等周辺環境との利便性にも配慮しながら、平成30年4月の開園を目指しています。

また、現在進めております市立保育園の民営化については、選定委員会において、優

先交渉事業者が選定されたので、今後詳細な条件等について協議し、明年度からの民営化を進めていきます。

◆学校教育の充実

甘利小学校の大規模改修事業は、1階に給食室、2階にはIT化した図書館にパソコンルームを併設した学習メディアセンターが昨年度末に竣工し、本年度は旧給食棟の解体と校舎の本格的な改修に

取り組み、平成30年度の完成を目指します。

韮崎北東小学校のスクールバスを、新たな車両へ入れ替え、児童が安心して快適に通学できる環境を整備します。

また、子どもが健やかに成長するための環境や教育を受ける機会の中で、課題や困難を抱えている現状を踏まえ、子どもの将来が生まれ育った環境に左右されることのないよう、生活困窮世帯の子どもには、学習に必要な環境整備とその機会均等を図るため、中学生を対象に「子どもの学習支援」を実施します。

将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり

予算額 (千円)

1	子ども医療費助成事業費	112,449
2	ひとり親家庭医療費助成事業費	19,519
3	児童センター管理運営費	40,598
4	地域子育て支援センター管理運営費	29,973
5	ファミリーサポート支援事業費	1,160
6	不妊症対策支援事業費	6,400
7	保育園運営費	287,120
8	病児・病後児保育所運営費	15,125
9	子ども・子育て支援事業費	111,745
10	再編保育園・藤井公民館整備事業費(保育園分)	658,878
11	私立幼稚園奨励補助事業費	34,624
12	小中学校運営事業費	102,771
13	小中学校給食運営事業費	160,270
14	小学校スクールバス運行事業費	39,313
15	甘利小学校大規模改修事業費	238,409
16	育英奨学金貸付事業費	7,680

生活習慣病を中心とした疾病の予防、合併症予防を含む重症化予防、介護予防、後発医薬品の使用や適切な受診行動を促すため、昨年度その基礎となる国保医療費の分析を国保健康寿命サポート事業として行いました。本年度は分析データをベースに本市の疾病状況に特化したデータヘルス計画を策定し、課題に対して適切な個別指導や保健事業を実施し、被保険者の皆さんのさらなる健康寿命の延伸と

誰もが安心して暮らせるまちづくり

◆医療体制の充実

医療費の適正化を図ります。また、診療情報の一元化と待ち時間の短縮化を目指した電子カルテの導入が本格稼働となり、さらなる患者サービスの向上を図るため、病院機能の評価を受けるとともに急性期から在宅医療へ繋ぐ地域包括ケア病床を新設し在宅復帰に向けた支援を行い、地域に愛され信頼される病院づくりを進めていきます。

◆高齢者福祉の充実

介護予防・日常生活支援総合事業では住民主体の自主活

誰もが安心して暮らせるまちづくり 予算額 (千円)

1	健康教育事業費 (健康ポイント事業含む)	1,532
2	予防接種事業費	68,997
3	がん検診事業費	53,072
4	健康ふれあいセンター管理運営費	47,428
5	老人福祉センター管理運営費	13,322
6	臨時福祉給付金支給事業費	93,778
7	重度心身障害者医療費助成事業費	109,515
8	障害者自立支援給付費等負担事業費	728,498
9	障害児通所支援事業費	59,678
10	社会福祉関係計画策定事業費	3,000
11	消防団運営事業費	51,737
12	消防ポンプ自動車整備事業費	19,547
13	安全・安心なまちづくり事業費	5,767
14	災害対策事業費	10,898
15	防災行政無線デジタル化推進事業費	25,521
16	生活保護施行事業費	314,700
17	生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業費	738
*	葦崎市立病院運営事業費	2,575,000
*	国民健康保険運営事業費	3,710,091
*	後期高齢者医療保険運営事業費	290,610
*	介護保険運営事業費	2,374,570

*印は特別会計・企業会計

動である「お助け隊」による生活援助サービス、身近な地区単位で定期的な交流の場を設ける閉じこもり予防事業や、リハビリ専門員を派遣して住民主体の運動活動をサポートする地域リハ活動支援事業、さらには包括的支援事業の実施により地域の高齢者誰もが参加できる介護予防体制や住み慣れた地域で高齢者が自分らしい生活を維持できる支援体制づくりを実施していきます。

◆防災体制の強化

消防・救急体制の充実のため、清哲分団の消防ポンプ自動車の更新を行い、消防力の強化を図ります。

防犯対策については、犯罪発生を抑止を図るため引き続き、防犯灯のLED化を推進していきます。

防災体制の強化については、国の電波法の通信規格が、平成34年11月末に現行のアナログ方式からデジタル方式へ移行され、本年度は庁舎内遠隔操作、放送聞き直し機能、災害対策本部と避難所との双方向通信や庁内行政防災無線室の1階から3階への移設などの機能強化を含め、実施計画を行います。

心地よい定住環境のあるまちづくり 予算額 (千円)

1	浄化槽設置促進事業費	18,859
2	廃棄物処理対策事業費	66,414
3	ごみ減量アクションプラン推進事業費	265
4	資源リサイクル推進事業費	18,169
5	火葬場管理運営費	24,127
6	市営住宅改修事業費	45,212
7	定住促進住宅改修事業費	48,698
8	持家住宅定住促進助成事業費	8,000
9	市立公園等管理費	9,649
10	市民バス運行事業費	45,818
11	高齢者タクシー利用助成事業費	3,325
12	市単独道路整備事業費	189,498
13	市道(旭)58号線道路整備事業費	23,000
14	市道(神山)2号線道路整備事業費	32,259
15	堀切橋拡幅整備事業費	225,807
16	道路施設長寿命化推進事業費	74,142
*	水道事業費	1,419,139
*	公共下水道事業費	1,382,919

*印は特別会計・企業会計

心地よい定住環境のあるまちづくり

◆公共バスの充実

市民バス路線の見直しや利便性の向上については、調査検討を行いその改善に努めていきますが、通学の利便性を向上するため、中学生以下の市民バス利用料金を、1回100円としていつでも通学の手段として利用していただけるように充実します。

◆道路等の整備

主要地方道葦崎昇仙峡線については、土地の買収状況に

より順次、歩道と車道の施工を進めていきます。市道龍岡18号線に架かる堀切橋については、上部架設工事に着手し、引き続き通行の安全性の向上を図ります。市道藤井6号線、穴山22号線、旭58号線、神山2号線については、地域住民の利便性の向上や小中学生が安心して通学できる歩道設置など引き続き交通安全の確保に努めます。

魅力あふれるまちづくり

◆魅力ある観光施策の充実

美しい富士山を望むことができる本市の特性を活かし、「韮崎から望む四季折々の富士山フォトコンテスト」を開催して、全国に誇れる韮崎版「富嶽36景」を選定します。

◆中小企業及び小規模事業者支援

「中小企業・小規模事業者振興基本条例」に基づく支援策として、新たに、従業員が業務上必要な資格を取得する際の経費の一部を、商工会を通じて助成していきます。また、第3期まちなか活性

化計画を社会情勢や市民ニーズを把握し、引き続きまちなかに賑わいを創出する新たな計画として策定を進めていきます。

◆企業誘致の促進

上ノ山・穂坂地区工業団地第2期造成事業については、地域住民への説明会を開催し、周辺道路の整備を行い、早期の造成工事着手に向けた取り組みを進めていきます。

◆農業生産基盤の整備

市内全域において地域の特性に合った区画整理、道路及び水路整備を総合的に実施し

魅力あふれるまちづくり

予算額 (千円)

1	県営畑地帯総合土地改良事業費	67,626
2	小土地改良事業費	89,753
3	農業基盤整備促進事業費	40,300
4	県営農村地域防災減災事業費(沢村堤・三ツ沢地区)	2,200
5	新規就農者支援事業費	21,960
6	まちなか活性化推進事業費	19,287
7	企業立地支援事業費	6,925
8	商工団体育成事業費	8,177
9	観光振興事業費	19,972
10	再編保育園・藤井公民館整備事業費(公民館分)	150,945
11	市立図書館管理運営費	66,342
12	文化ホール管理運営費	134,975
13	大村美術館開館10周年記念事業費	40,808
14	まちなか美術館事業費	9,794
15	地域文化振興事業費	28,286
16	ふるさと偉人資料館管理運営費	7,437
17	サッカーのまちプロジェクト事業費	9,040

農業生産の効率化と農家の経営安定化を図るため、引き続き各種事業に取り組み、農業環境を改善していきます。

◆健康ウォークの推進

春は大村先生が称賛する郷土の展望を楽しみ春の息吹を感じる武田の里と新府桃源郷コース、秋は本市自慢の360度の山岳展望と秋の味覚を楽しんでいただく穂坂ぶどう郷コースといずれも自然を満喫し、地域の魅力を再発見できるイベントとして実施していきます。

◆文化・芸術の振興

大村美術館開館10周年記念事業として、収蔵庫増築、記念図録の発行、大村記念室の開設に併せ記念セレモニー及び企画展の開催を予定しています。美術館大村記念室については、先生のご功績を多くの方に紹介するため、ノーベル賞メダルや美術愛好家としての秘蔵の作品などを展示する予定です。

また、まちなか美術館構想事業として、幸福の小径への彫刻作品の設置については、国内で活躍する優れた作家による9作品を平成30年4月に披露する予定です。

人が集う交流のあるまちづくり

◆高校生議会の開催

選挙権年齢の引き下げにより18歳以上の方に選挙権が与えられました。市のまちづくりや政治への関心を持つてもらうために高校生議会を開催します。

◆広報電子ブック化開始

スマートフォンが広く普及する中で、いつでもインターネットで見れる環境になったことにともない、広報誌の電子ブック化を図ります。

健全な行政活動によるまちづくり

◆効果的な行財政運営

災害時における地域防災拠点としての機能強化のため、庁舎1階エントランスの天井耐震化及び強化ガラスへの更新など来庁者が安心して利用できる庁舎へと整備します。

◆ふるさと納税の充実

寄附手続の簡素化や返礼品の充実により、寄附額が飛躍的に増加しました。さらに返礼品のラインナップを増やし本市をPRしていきます。

健全な行政活動によるまちづくり

予算額 (千円)

1	職員研修費	5,404
2	庁舎管理費	125,524
3	企画一般事務費	56,689
4	賦課徴収事務費	39,566
5	長期計画費	4,706
6	情報システム管理費	192,230

人が集う交流のあるまちづくり

予算額 (千円)

1	市民交流センター管理運営費	68,048
2	文書管理事務費	27,058
3	広聴広報事務費	20,629
4	男女共同参画社会づくり事業費	1,284
5	地区活動推進事業費	19,255

葦崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略

◆地域おこし協力隊の推進

多くの観光客が訪れている大村美術館を中心に武田家ゆかりの史跡やわに塚のサクラ、幸福の小径などの観光スポットを周遊コースとして結び付け、本市の魅力を中心に発信しながら、地域活動の一翼を担っていただくために協力隊員を武田八幡宮に配置し、観光振興の充実を図ります。

また、平成22年より7年間、サッカーのまちづくりプロジェクト事業として、活気に満ち溢れた魅力あるまちづくりと将来を担う人材育成に取り組んできましたが、本年度からこれまでの活動を葦崎市サッカー協会が継承するため、協力隊員を配置して本市独自のスポーツ文化の醸成を目指し、活性化を図ります。

◆移住・定住の促進

世界的なトレイルランナーである山本健一先生のご協力により、東京駅前の移住ガーデンにおいて山の魅力に惹かれる移住定住希望者を対象としたセミナーを開催しました。

ふるさと葦崎の魅力発信や山岳観光事業を展開するため、本市の山をテーマとしたイベントやセミナーなどを開催し、交流人口の増加を図ります。

また、首都圏で活躍されている本市にゆかりのある方々と市民がともに手を携え、ふるさとへのさらなる発展を目的とした「首都圏葦崎会」の設立に向けて準備を進めています。

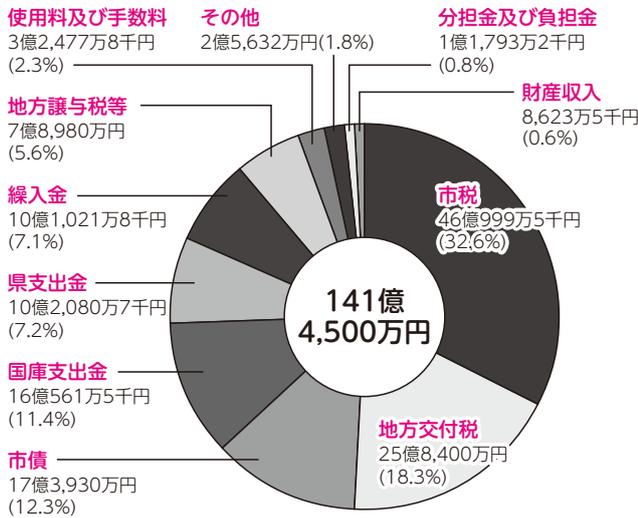
まち・ひと・しごと創生総合戦略

予算額 (千円)

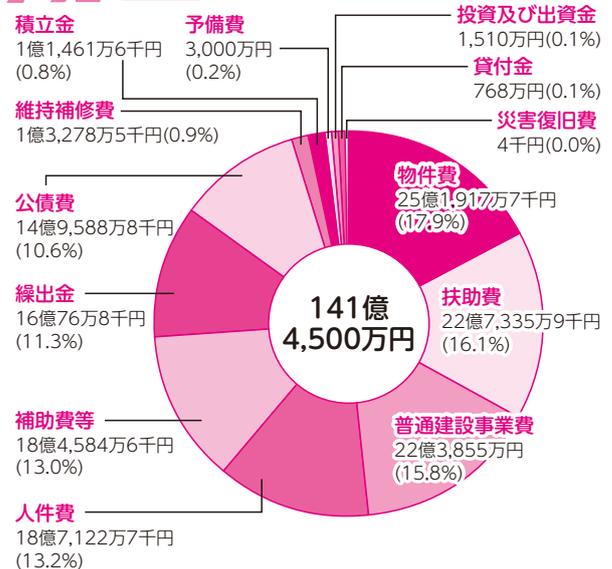
1	中小企業等支援事業費	6,649
2	定住対策促進事業費(合計)	45,348
3	幸せ結婚・出産応援事業費(合計)	1,084
4	子育て応援事業費(合計)	956
5	観光プロモーション推進事業費(合計)	7,739

平成 29 年度当初予算の内訳 (一般会計)

歳入



歳出(性質別)



歳出(目的別)

